

売掛債権担保に融資支援

電算システム
フィンテック企業と共同開発

【岐阜】 収納代行事業を手掛ける電算システム（本社岐阜市）は29日、金融機関が融資先企業の抱える売掛債権を譲渡担保にして融資しやすくするサービスのフィンテックベンチャーのTranzax（本社東京都）と共同開発したと発表しました。このほど、第1号案件を実施した。

通常、金融機関が売掛債

権を譲渡担保にすると、融資先企業の信用不安を引き起こすリスクがあるほか、実行に手間がかかる。同サービスでは売掛先への代金請求・収納を電算システムが代行することで、信用を保全できるようにした。融資を受ける企業としても、売掛金に関する経理業務の削減につながられる。

譲渡担保として金融機関

が引き受けた債権は、Tranzaxのシステムにより、電子記録債権として管理できるようにする。回収状況をリアルタイムに確認でき、金融機関にとっても売掛先の与信管理に手間をかけずに済む。

電算システムの担当者は「今回は個別対応として実施したが、今後パッケージ化してサービス提供を拡大していきたい」と話している。